

大風便り 第169号

ブログ発信中 <http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>

編集・発行 世界風博物館東近江大風会館 令和2年6月25日発行
〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3番5号
TEL: 0748-23-0081 FAX: 0748-23-1860
IP: 050-5801-1140
開館時間: 9時~17時 休館日: 毎週水曜日、第4火曜日、祝日の翌日
平成18年度から指定管理者制度により(公財)東近江市地域振興事業団が管理しています。

毎週第3日曜日は「家族ふれあいサンデー」 東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、ご家族でお越し下さい

＝疫病退散の願いを込め、凧を展示＝



開催期間 令和2年8月24日(月)まで

開館時間 午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで) 期間中の休館日 水曜日、8月11日



東近江大風会館では、疫病退散の願いがあるとされる赤い顔の金太郎と鍾馗(しょうき)さまが描かれた凧を展示しました。また、新型コロナウイルス収束を願って、日本各地で疫病から人々を守るとして話題となった「アマビエ」と「ヨゲンノトリ」の連凧も展示しています。また、疫病退散で凧を揚げられた三条と白根の大凧を写真で紹介をしています。



鍾馗さまは、中国の民間伝承に伝わる道教系の神で、病魔を追い払い治したという故事から、人々の間で邪悪なものや疫病から家を守る魔除けの神として信じられています。日本では魔除けや疫病除けに効果があるとされ、疱瘡(ほうそう)にかかった病人への見舞い品として贈られたり、病人の部屋に貼られるという浮世絵の疱瘡絵に「鍾馗」が描かれています。端午の節句では、赤ちゃんを病魔から守り、頭が良くなるようにと受験の守り神として、人形の鍾馗様を飾ったりします。

幟や凧の絵にも鍾馗様が描かれています。



古来、「赤」は、疫病や魔除けを表わす色でした。子どもが疱瘡(ほうそう)に罹ったとき、東京では、張り子の赤い達磨、鯛車などを置き、痘瘡の治ることを祈りました。富山市では、周囲に赤紙で作った人形と旗を並べました。

赤い顔をした金太郎を題材に「熊金」(熊乗り金太郎)や「鯉金」(鯉抱き金太郎)などの絵も描かれ、凧や鯉のぼり、幟にも描かれます。

金太郎が描かれた凧の絵は、各地の伝統凧の絵柄として、好まれて描かれています。

≡「アマビエ」と「ヨゲンノトリ」の連凧も展示≡

新型コロナウイルス収束を願って、日本各地で疫病から人々を守るとして話題となった「アマビエ」と「ヨゲンノトリ」を展示しました。



下の写真は、東京都葛飾区堀切水辺公園で開催された定例会「堀切凧揚げ会」で揚げられた様子です。



揚がっている様子の動画はYouTubeでご覧いただけます。

疫病退散 妖怪アマビエ 50 連凧

<https://youtu.be/OtKVfTueKZU>

ヨゲンノトリ八咫鳥 50 連凧

<https://youtu.be/AZJ6eq2bwEc>

ヨゲンノトリ八咫鳥&妖怪アマビエ

<https://youtu.be/TzAj1eYv4HQ>

≡web アミンチュの収録について≡



梅雨のお天気がすぐれない日が続いていますね。そんな日は、自宅でも滋賀県のおもしろ動画を見てみるのはいかがでしょうか？

先日、大凧会館で、『web アミンチュ』の収録をしていただきました。『web アミンチュ』は、滋賀県民のおもしろ動画や、お役立ち動画を配信し、滋賀県の魅力を県内外、全世界に発信されています。東近江大凧には、他の地域の凧にはない、おもしろい特徴があり、その特徴をおもしろく、おかしくクイズ動画にさせていただきました。

現在、配信されているのは、凧という呼び名の由来を紹介した、「むかしタコはイカだった」と、東近江大凧の特徴のひとつである“判じもん”を紹介した、「この絵柄は何と読む？～大凧の絵柄を読み解いてみよう～」と、大凧の運び方を紹介した、「大凧は畳める。どうやって？」の3本です。ぜひご覧いただきたいと思います。



Web アミンチュ <https://www.webaminchu.jp/>

むかし タコはイカだった：クイズ滋賀道

<https://www.webaminchu.jp/news/3429/>

この絵柄何と読む？：クイズ滋賀道

<https://www.webaminchu.jp/news/3440/>

大凧は畳める。どうやって？：クイズ滋賀道

<https://www.webaminchu.jp/news/3472/>



≡♪♪ 館長のツイート～ b b ≡

新型コロナウイルス感染症対策に関し緊急事態宣言がされ、拡大防止対策による三密「密閉、密集、密接」により休園、休校、公共施設の休館や各種イベントの自粛要請に伴う中止、都道府県をまたぐ移動自粛など外出の制限、マスクや消毒液などの不足など市民生活や経済活動に大きな影響を与え約4カ月余りが過ぎました。

5月25日に緊急事態宣言が解除され6月から感染状況を確認しつつ段階的に行動範囲など緩和措置がありましたが、まだまだ予断を許さない状況が続きます。

東近江大凧会館では、市民の皆さんに安心してご来館いただけるよう、入館時の注意（マスクの着用、手指の消毒など）はあるものの安心して入館いただける体制を取っております。また、新型コロナウイルス感染症の早い収束を願って、疫病退散の凧を展示しております。日本各地で疫病から人々を守るとして話題となった「アマビエ」、「ヨゲンノトリ」の連凧の他、各地の魔除け、疫病除けの凧を展示しております。

ぜひ、この機会に大凧会館で疫病封じにご来館下さい。お待ちしております。

今から立ち寄り！

≡東近江市内の観光スポットへ≡



梅雨と新型コロナウイルスとのお付き合いの日々ですが、みなさん、いかがお過ごしでしょうか。

さて、道の駅あいとうマーガレットステーションに、東近江市の観光スポットを紹介する、ポスターパネルが設置されました。東近江大凧会館も紹介していただいています。ポスターには、車での所要時間や経路がすぐに検索できるGoogle マップのQRコードが表示してあります。気軽に立ち寄れるところばかりです。「ちょっとどこかに行ってみたいな！」と思ったら、ぜひ、東近江大凧会館へ！日本一の大きさを誇る百畳敷大凧、ふるさとのぬくもりを感じられる日本各地の凧、カラフルでユニークな世界各国の凧をお楽しみいただけます。市内周遊を楽しんで、日頃の疲れを癒しましょう！



介する、ポスターパネルが設置されました。東近江大凧会館も紹介していただいています。ポスターには、車での所要時間や経路がすぐに検索できるGoogle マップのQRコードが表示してあります。気軽に立ち寄れるところばかりです。「ちょっとどこかに行ってみたいな！」と思ったら、ぜひ、東近江大凧会館へ！日本一の大きさを誇る百畳敷大凧、ふるさとのぬくもりを感じられる日本各地の凧、カラフルでユニークな世界各国の凧をお楽しみいただけます。市内周遊を楽しんで、日頃の疲れを癒しましょう！

≡あじさい～東近江市宮荘町～≡



五個荘の宮荘川の約1000株の白やピンク、紫色のあじさいがちょうど見頃です。

環境保全の一環として2008年から植樹され、たくさんの方が見に来られます。

≡2020年7月の予定≡

19日(日) 家族ふれあいサンデー

28日(火) こども園あつぷる見学

7月の休館日 7/1・7/8・7/15・7/22・7/29